

閣僚の資質と野田総理大臣の任命責任を鋭く追及！

大きな反響をよんだ衆議院予算委員会基本的質疑

野田内閣が発足して初の予算委員会。河井克行代議士は、野田総理大臣による“適材適所”人事の杜撰さを衝きました。

9月27日(火)、NHK生中継が入る中、河井代議士は平岡秀夫法務大臣の適格性につき次の点を問い質しました。①米軍再編の推進を野田総理が日米首脳会談で約束しておきながら、法相が地元・岩国での大臣就任後の会見で

「政治家個人としては、反対の気持ちは変わらない」と発言したことは閣内不一致。

②朝鮮総連の支配下にある朝鮮大学校創立50年記念の祝宴に国会議員としてただ一人出かけて祝辞を述べたことは公安調査庁を所管する大臣として不適格。③

大臣就任会見で、「死刑執行について勉強会で考えている間は当然判断できない」と言明したことは刑事訴訟法に違反。



野田内閣総理大臣らに堂々の質問を行なう河井克行代議士 (9月27日 /衆議院第一委員室)

「政治家個人としては、反対の気持ちは変わらない」と言明したことは刑事訴訟法に違反。

こうした平岡法相の言動はいま始まったことではなく、これまで何度も報じられていたことを河井代議士は指摘。法相の罷免を求めるとともに、責任の所在は、任命した野田総理大臣にあると追及。全国紙、テレビのニュースやワイドショーで大きく報じられ、事務所には全国各地から激励の電話が寄せられました。

法相「岩国移転に反対」

18年の日米合意 野党は罷免要求

9月28日付 朝刊各紙より 抜粋

野田内閣は、政治家個人としての気持ちは変わらないと、法相の罷免を求めるとともに、責任の所在は、任命した野田総理大臣にあると追及。全国紙、テレビのニュースやワイドショーで大きく報じられ、事務所には全国各地から激励の電話が寄せられました。

新任閣僚タジタジ

衆院予算委 野党が攻撃

法相 発言追及されて激高

閣議の決定には従う

（読売新聞）

与野党のキーパーソンたちが河井克行代議士にエール！

今年も東京で「ゆめづくりフォーラム」を開催

9月21日(水)、ルポール麴町において、13回目の「ゆめづくりフォーラム in TOKYO」が開かれ、河井克行代議士と親交のある国会議員らが大勢ご来場。

河井代議士の国政での活躍ぶりと今後の期待について、エールを送っていただきました。

基調講演は、外交評論家・岡本行夫氏『日本はこの大災害を乗り越えられるのか』。

ご自身が被災地で行っている水産業復興支援のためのNPO

活動や、世界における日本企業の存在感の低下への警鐘などが語られました。



(左から順に) 鳩山邦夫・元法務大臣 小池百合子・自民党総務会長
高村正彦・元外務大臣 原口一博・民主党元総務大臣 松野頼久・民主党元
内閣官房副長官 下地幹郎・国民新党幹事長 (9月21日/ルポール麴町)

「尖閣」を守れ！ 超党派議員連盟が議員立法

河井克行代議士が副座長を務め、昨年10月民間セスナ機で尖閣諸島上空への視察を敢行した「国家主権と国益を守るために行動する議員連盟」(共同座長:民主党・原口一博代議士ら)は、中国漁船領海侵犯事件から一年の9月7

日(水)、国境離島を守る具体的な措置を定める法律案【国境離島の保全及び振興に関する特別措置法案、領海等における外国船舶の航行に関する法律等の一部を改正する法律案、

特定国境離島地区における国による先買い等に関する特別措置法案】を発表。

8月には中国政府の公船が初めて尖閣諸島領海を侵犯。後手後手、弱腰な現政権にもう任せられません。各党に立法化への理解と協力を呼びかけました。



共同記者会見を行なう河井克行代議士

(9月7日/衆議院第二議員会館)